



ビットコインやや持ち直すも、暗号資産（仮想通貨）へ悲観的観測



ビットコインやや持ち直す、仮想通貨への悲観的見方続く

【ロンドン／ワシントン 14日 ロイター】 -
暗号資産（仮想通貨）ビットコインの価格は14日、一時1年半ぶり安値を更新したものの、その後やや持ち直した。米大手融資サービスのセルシウス・ネットワークの出金停止や米利上げ加速観測を背景に、仮想通貨に対する悲観的見方が続いている。

ビットコインは夜間に7.3%安の2万0816ドルと、2020年12月以来の安値を付けたが、その後はプラス圏へと動き、約2万2470ドル近辺で推移した。

13日には15%下落し、1日の下げとしては2020年3月以来最大となった。年初からは約50%下落、10日からは20%超下げている。11月に記録した過去最高値（6万9000ドル）からは70%近く下げている。

イーサもやや持ち直した。一時は10%安の1075ドルと1年3カ月ぶり安値を付けた。11月の過去最高値（4869ドル）からは75%下げている。

市場では、ビットコインなど仮想通貨に対する悲観的な見方が広がっている。BCBグループのリチャード・アッシャー氏は、ビットコインの価格反転にはリスクセンチメントの全面的な改善が必要だと指摘した。

暗号資産交換所の米コインベースは14日、全従業員の18%に相当する約1100人を削減すると発表した。不安定な市場環境の中でコスト抑制に取り組む。